

コンセプト

近年、公園が減っていることや家庭ゲーム機の普及などにより、外で遊ばない子どもが増えてきている傾向があります。そこで、家の中で自然と触れ合いながら子ども自身の成長を木の成長と共に感じることができ、家族が自然と集まり、子供を育む家を提案します。

家族構成

父（30代）小説家
母（30代）専業主婦
息子（小学生）

概要

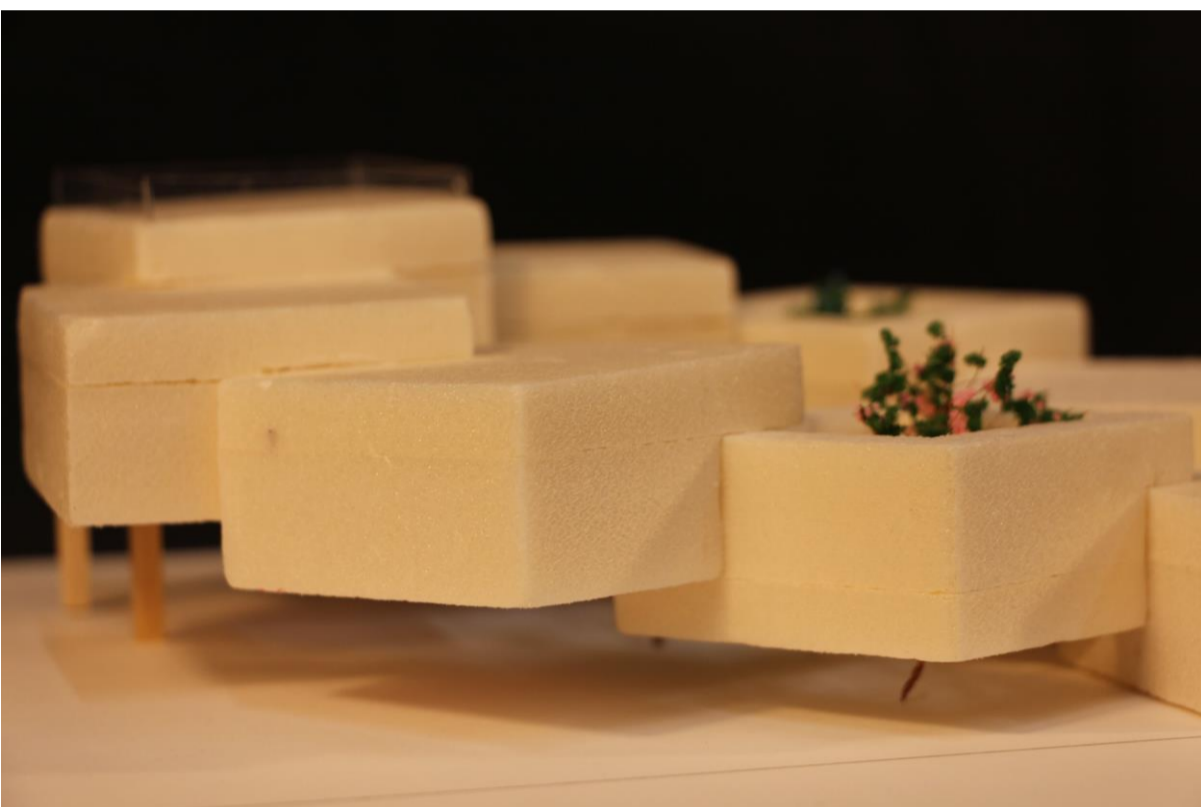
家の中で子どもが離れたところにも、両親のいるLDKに戻ることができる、常に家族が集まれる家とするため、ブーメランの軌道をモチーフにした家の形にしました。

次に、玄関はなくし、土間から直接LDKに入ります。子どもが帰ってきやすい空間となり、かつ自然と家族が集まる空間になるように設計しました。

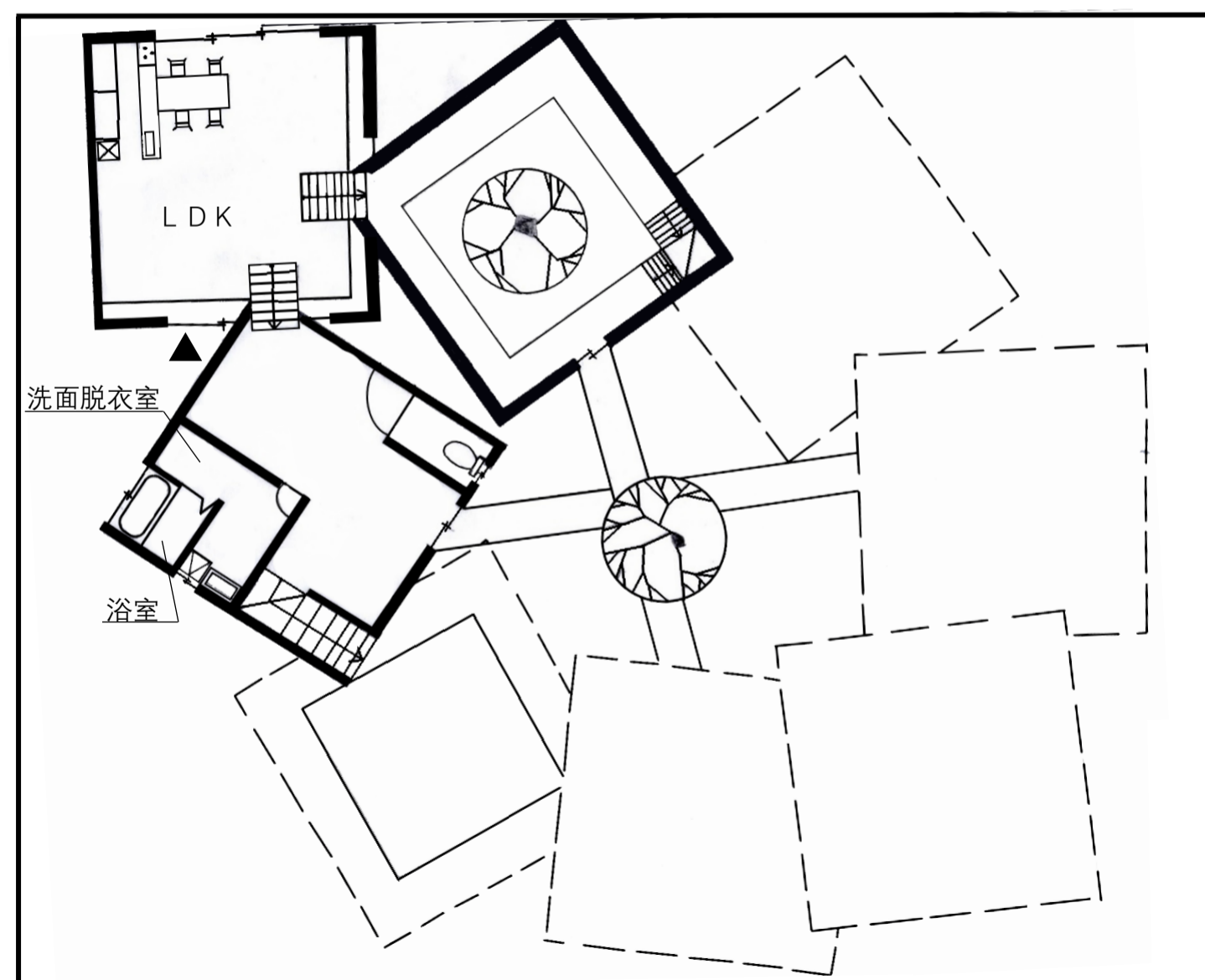
家族は個々の部屋に向かう際、吹き抜けの中庭を通るため、必ず自然に触れることができます。また、部屋と部屋を家の中央にある中庭に植えられた「ハルニレ」を横切るようにアスレチックネットを繋げることで、廊下としての用途や木の下を通る部分では、木陰スペースとしてリラクゼーション用途もあります。

屋上テラスでは、360度見渡すことができ、軽井沢の景色を楽しめます。

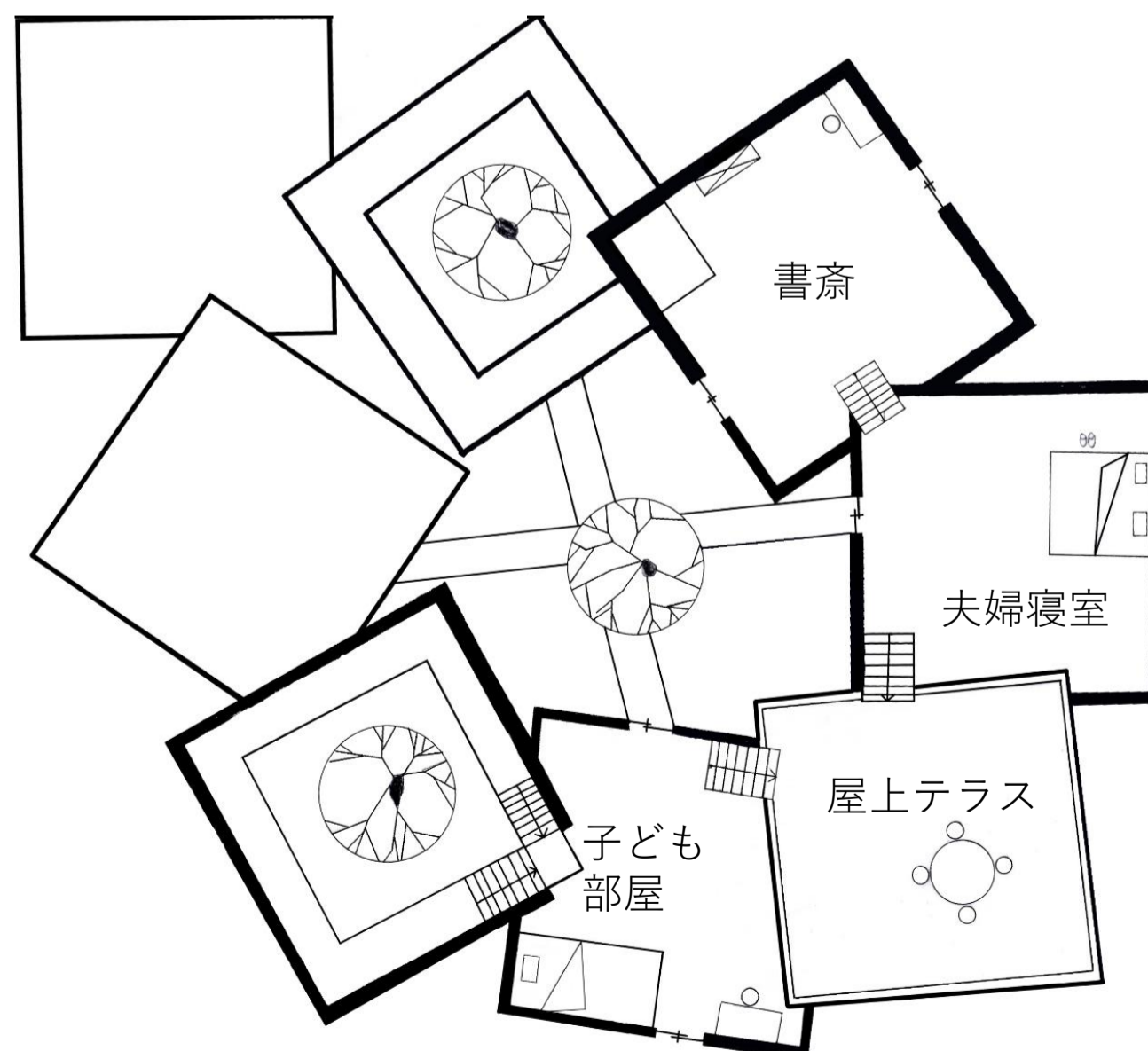
こうして自然と家族とつながりながら子供は育まれていきます。



ひとつなぎの家



配置図兼1階～1.5階平面図1:200



2階～3階平面図1:200

